

令和元事業年度決算の概要

独立行政法人日本高速道路保有・債務返済機構
Japan Expressway Holding and Debt Repayment Agency

トピックス ～損益の状況～

1. 経常収益 2兆807億円 (前年比▲207億円)

- 道路資産貸付料収入の減少等により2兆493億円（前年比▲186億円）となりました。

2. 経常費用 1兆4,021億円 (前年比▲274億円)

- 道路資産貸付業務費は、資産の減価償却費の増加により1兆587億円（+266億円）となりました。
- 財務費用は、現下の低金利状況を活かした資金調達を行ったことにより2,813億円（前年比▲267億円）となりました。

3. 経常利益 6,785億円 (前年比+67億円)

- 経常収益は減少したものの、財務費用などの経常費用も減少したことにより、経常利益は増加しました。

トピックス ～資産・負債の状況～

4. 資産総額 **44兆4,013億円** (前年比+1兆1,910億円)

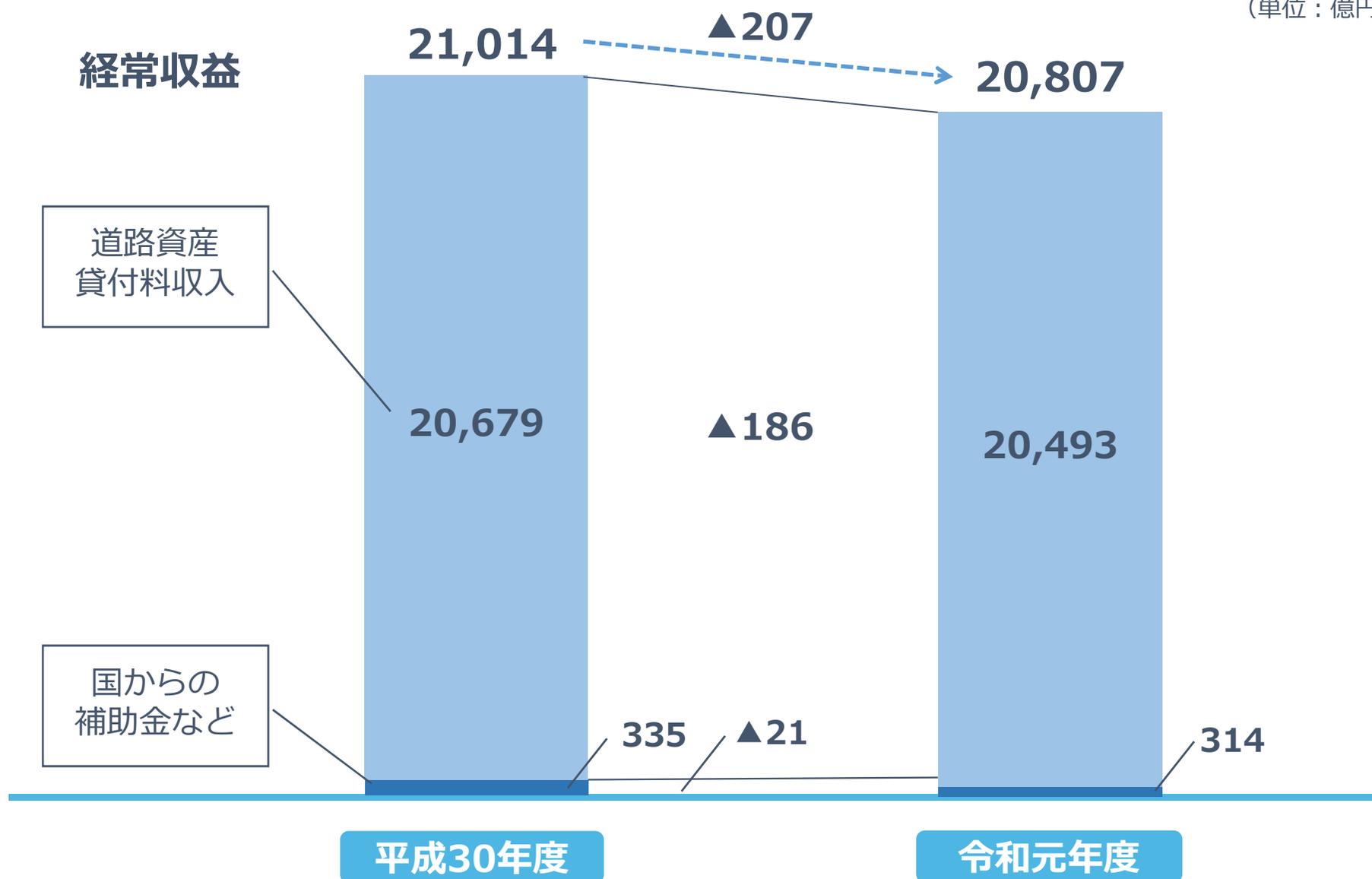
- 流動資産は、財政融資資金1兆5,500億円を借入れたことにより2兆6,801億円（前年比+8,438億円）となりました。
- 固定資産は、横浜北西線（横浜港北～横浜青葉）の開通などの新規供用があり、資産引受額が増加したことにより41兆7,211億円（前年比+3,472億円）となりました。

5. 負債総額 **30兆7,764億円** (前年比+4,667億円)

- 負債は、債務引受額が1兆1,848億円となったほか、財政融資資金1兆5,500億円を借入れたことにより増加しました。
- これらを踏まえた上で、債務の確実な返済を確認しています。

経常収益の前年比較

(単位：億円)

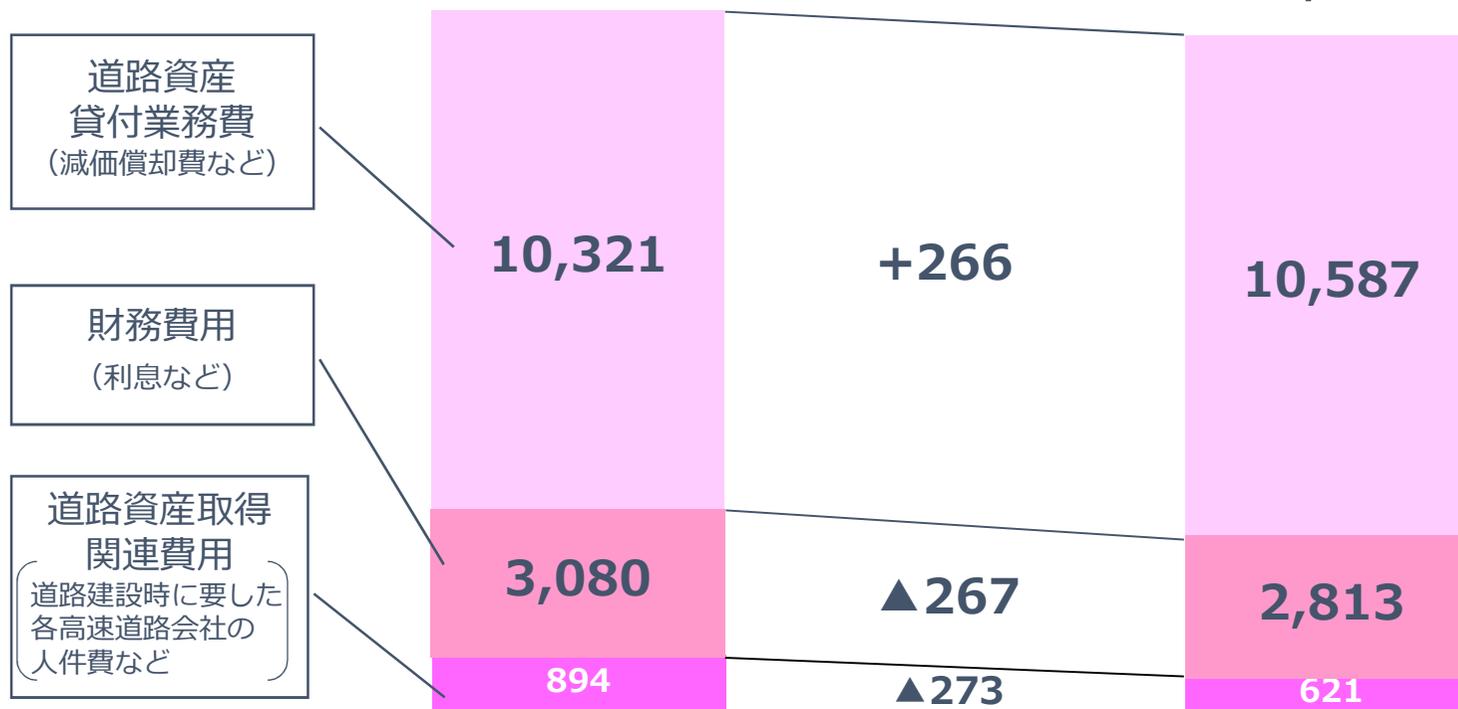


経常利益と経常費用の前年比較

(単位：億円)

経常利益 6,718 +67 → 6,785

経常費用 14,295 ▲274 → 14,021

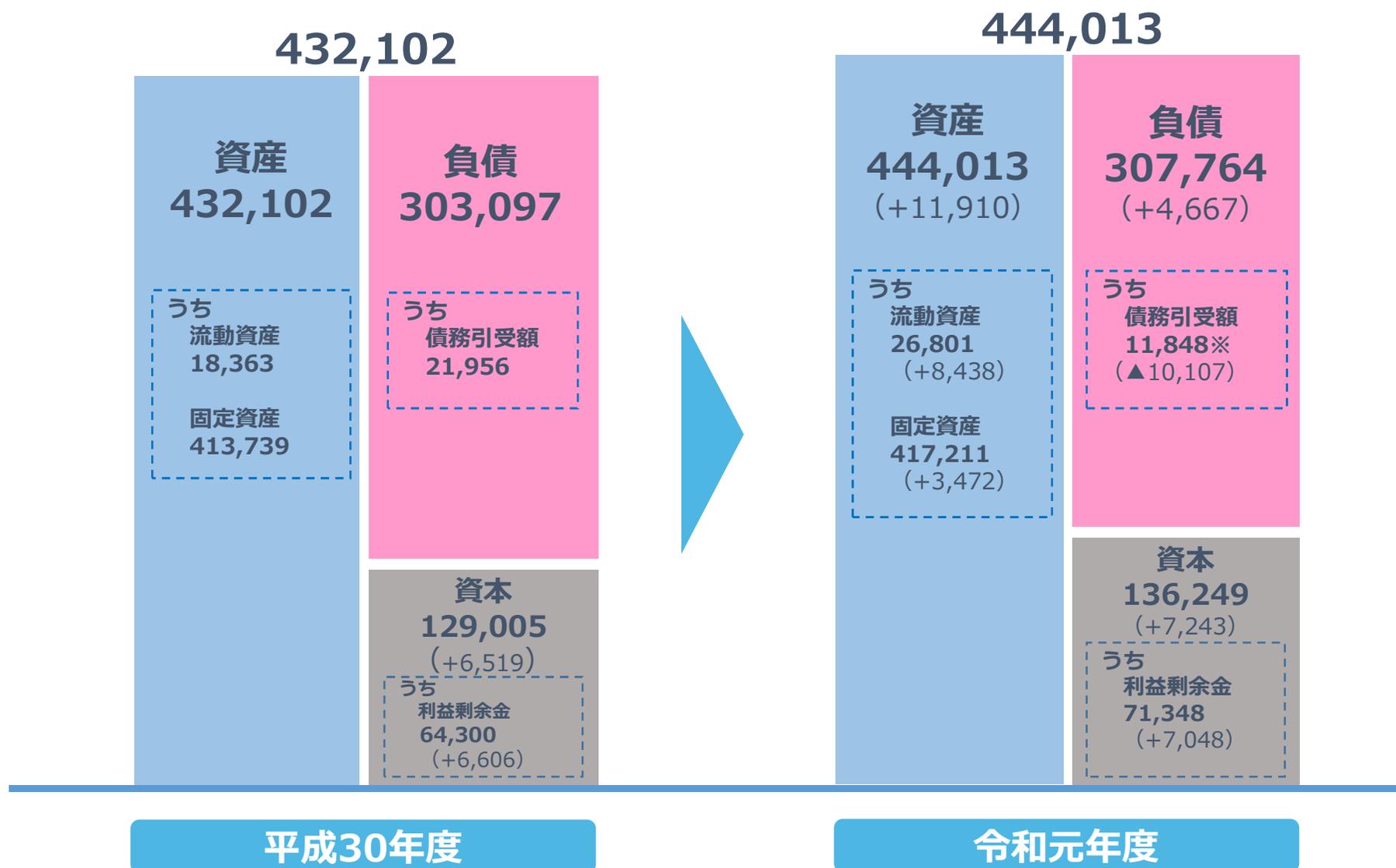


平成30年度

令和元年度

貸借対照表の前年比較

(単位：億円)



※金額は、法人単位財務諸表 (PDF) の
長期借入金及び機構債の明細 (15ページ目) に掲載しています。